

児童・生徒実態把握票(共通) 観察者 所属 () 氏名 () 児童・生徒氏名 ()

項目		各項目ごとに下記のいずれかの段階に相当する数字に○を付けて下さい。					具体的な様子・支援・課題等	詳細な記録
		○年齢より著しく低い ○著しく支援が必要 ○著しく課題がある	○年齢よりかなり低い ○多くの支援が必要 ○多くの課題がある	○年齢より低い ○支援が必要 ○課題がある	○年齢よりやや低い ○やや支援が必要 ○やや課題がある	○年齢相当 ○支援を必要としない ○課題がない		
社会性・行動	学習態勢(着席・反応等)	1	2	3	4	5		社会性・行動の把握票(様式実-2)を使用
	人との関係(共有・共感)	1	2	3	4	5		
	集団活動・参加	1	2	3	4	5		
	行動特性(多動・衝動等)	1	2	3	4	5		
日常生活	食事	1	2	3	4	5		日常生活・認知の把握票(様式実-3)を使用
	着替え	1	2	3	4	5		
	排せつ	1	2	3	4	5		
コミュニケーション	言語理解(指示理解)	1	2	3	4	5		
	言語表出(要求・伝達)	1	2	3	4	5		
身体機能	姿勢保持	1	2	3	4	5		身体機能の把握票(様式実-4)を使用
	移動	1	2	3	4	5		
	上肢の操作	1	2	3	4	5		
	下肢の操作	1	2	3	4	5		
感覚機能	聞こえ	1	2	3	4	5		感覚機能の把握票(様式実-5)を使用
	視覚	1	2	3	4	5		

参考までに所見をお願いいたします。

所見	1 特別支援学校(視・聴・肢・知・病)への就学が適当と考える。 2 特別支援学級(知的・情緒)への就学が適当であると考え。 3 通常の学級への就学が適当であると考え。 <()特別支援教室の活用が適当である。>	判断の理由
----	--	-------

①児童・生徒実態把握票(社会性・行動)

観察項目等		観察内容・場面の例	○できない ○課題がある	○できることもある ○少しできる ○ほとんど課題	○時々できる ○まあまあできる ○時々課題になる	○だいたいできる ○普通にできる ○たまに課題になる	○いつもできる ○よくできる ○全く課題がない	個別指導計画作成のための所見 (指導のための手がかり・配慮事項)	観察場面 (場所・広さ・等)	形態 (集団・個別・保 護者面接)
学習 態勢・ 認知 処理等	指示に従う態度	指示に従って行動する等	1	2	3	4	5			個別 小集団 集団 保護者面接
	注目	指された場所・ものに注目する等	1	2	3	4	5			
	傾聴	指示や説明を聞くこと等	1	2	3	4	5			
	模倣	簡単な動作の模倣、手遊び等	1	2	3	4	5			
	時間や距離の見通し	距離や時間等目に見えない量の把握等	1	2	3	4	5			
	順序立てた行動	簡単な課題や遊びの手順に従う等	1	2	3	4	5			
	切り替え	繰り返し、パターン化しないで考える等	1	2	3	4	5			
空間認知	道具の後片づけ、元の場所に戻す等	1	2	3	4	5				
人との 関係・ 集団 参加	会話の調整	声のトーンやことばの抑揚、間のとり方、相手との距離やその場の状況に合わせた声の大きさ等	1	2	3	4	5			個別 小集団 集団 保護者面接
	言葉づかい	正しい語句、丁寧な言葉、慣用語で話す等	1	2	3	4	5			
	相手の意図の読み取り	表情の理解や指し指示だけで着席する等	1	2	3	4	5			
	対人緊張・母子分離・場面緊張	普通に人との関わり、反応する等	1	2	3	4	5			
	視線・表情	アイコンタクト、気持ちの共有、共感等	1	2	3	4	5			
	人との関係づくり	観察者への接し方や振る舞い等	1	2	3	4	5			
	決まりやルール理解	共に遊ぶ、ゲーム等	1	2	3	4	5			
	集団参加の状況	孤立、受け身、過干渉、妨害等	1	2	3	4	5			
集団活動の目的の把握	みんなで何をやろうとしているかがわかる等	1	2	3	4	5				
行動特性 (多動、衝動、注意・集中)	そわそわ、離席、よくしゃべる、出し抜くに答える、見直しをしない、気の散りやすさ、大事な事柄への集中等	1	2	3	4	5			個別 小集団 集団 保護者面接	
行動特性 (こだわり・パニック)	品物や場所、手順等のこだわり パニック・かんしゃくの頻度や様態	1	2	3	4	5				
行動特性 (感覚過敏・鈍麻)	聴覚、触覚等の感覚の過敏さ 聴覚、触覚等の感覚の鈍麻さ	1	2	3	4	5				
特記事項										

②児童・生徒実態把握票(日常生活・認知)

観察項目等		1	2	3	4	5	特記事項	個別指導計画作成のための所見 (指導のための手がかり・配慮事項)	観察場所 (場所・広さ・等)	形態 (集団・個別・保護 者面接)
日常の 基本的 生活の 自立	食形態	経管栄養等	初期食	中期食	後期食	普通食				個別 小集団 集団 保護者面接
	食事	ひとりではまったくできない	大部分手伝ってもらえる	半分手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	自分一人で行える				
	排せつ	ひとりではまったくできない	大部分手伝ってもらえる	半分手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	自分一人で行える				
	着脱	ひとりではまったくできない	大部分手伝ってもらえる	半分手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	自分一人で行える				
コミュ ニケー ション	言葉による 表出	意思の伝達は困難である	発声や身振りで意思の伝達ができる	喃語や幼児語がいくつか出る	数個の単語を使って意思の伝達ができる	言葉で意思の伝達ができる				個別 小集団 集団 保護者面接
	多様な手段による表出	文字・絵等を用いても意思の伝達は困難である	文字・絵等で「はい」「いいえ」なら伝えられる	文字・絵等によって、限られた意思を伝えられる	文字・絵等によって、いくつかの意思を伝えられる	文字・絵や機器・サイン等で意思の伝達ができる				
	言葉による理解	言葉の指示に反応しない	呼びかけ等簡単な話しかけに反応できる	日常生活場面の簡単な指示に分かる	的確ではないが言葉の指示を理解できる	言葉の指示を的確に理解できる				
	多様な手段による理解	文字・絵等を用いても理解は困難である	文字・絵等で「はい」「いいえ」が分かる		部分的に文字・絵等の指示が分かる	文字・絵等の指示を理解できる				
理解	文字を読む		文字に対する興味はない	文字に興味はある	限られたひらがなを読むことができる	ひらがなを読むことができる				個別 小集団 集団 保護者面接
	理解		絵本や読み聞かせに興味はない	絵本等を見て、物の名称は分かる	絵本等を見て、簡単な内容が理解できる	絵本等で、簡単な物語が分かる				
	数える	数に対する興味はない	数に興味はある	少数唱はできる	5まで数えることができる	10まで数えることができる				
	日時			天気が分かる	曜日が分かる	昨日・今日・明日が分かる				
特記事項										

③児童・生徒実態把握票(身体機能)									
観察項目等	1	2	3	4	5	特記事項	個別指導計画作成のための所見 (指導のための手がかり・配慮事項)	観察場所 (場所・広さ・等)	形態 (集団・個別・保護者面接)
移動	歩行	立つことができない	つたい歩き・ささえ歩き	かなり不安定な独歩	不安定な独歩	特に問題はない			個別 小集団 集団 保護者面接
	車いす	ひとりではまったくできない	大部分手伝ってもらえる	半分ぐらい手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	特に問題はない			
	床の上の移動(はいはい等)	ひとりではまったくできない	大部分手伝ってもらえる	半分ぐらい手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	特に問題はない			
姿勢	座位	一人では困難である	大部分介助及び特別の座いす等があれば座位がとれる	一部介助及び特別の座いす等で座位がとれるが不安定である	介助及び特別のいすがなくても一人で座位がとれるが不安定である	特に問題はない			
	立位	一人では困難である	大部分介助があれば立位がとれる	一部介助及び特別の補助具等で立位がとれるが不安定である	介助及び特別の補助具等がなくても一人で立位がとれるが不安定である	特に問題はない			
上肢・手指の操作	手の運動	脱力状態又は拘縮状態	意識して指を動かす	握らせてもすぐ落とす	手を伸ばして、つかんだり、はなしたりできる	特に問題はない			
	上肢の使用	使用不能	ほとんど使用不能	大部分の介助が必要	部分的に介助が必要	特に問題はない			
	下肢の使用	使用不能	ほとんど使用不能	大部分の介助が必要	部分的に介助が必要	特に問題はない			
	体幹		側彎が著しい	やや著しい	軽い異常がある	特に問題はない			
	骨格や筋肉の異常	著しい	やや著しい	異常がある	軽い異常がある	特に問題はない			
運動	粗大運動 (縄跳び・スキップ等)	まったくできない	年齢よりかなり低い運動ができる	年齢より低い運動なら	年齢よりやや低い運動ができる	年齢相当の運動ができる			
	微細運動 (お箸の操作等)	まったくできない	年齢よりかなり低い運動ができる	年齢より低い運動なら	年齢よりやや低い運動ができる	年齢相当の運動ができる			
医療的配慮	嚥下・摂食		常時特別な注意と配慮が必要	常時注意と配慮が必要である	一般的な注意と配慮が必要	問題なし			
	呼吸		常時特別な注意と配慮が必要	常時注意と配慮が必要である	一般的な注意と配慮が必要	問題なし			
	てんかん		常時特別な注意と配慮が必要	常時注意と配慮が必要である	一般的な注意と配慮が必要	問題なし			
	体温調節		常時特別な注意と配慮が必要	常時注意と配慮が必要である	一般的な注意と配慮が必要	問題なし			
	その他		常時特別な注意と配慮が必要	常時注意と配慮が必要である	一般的な注意と配慮が必要	問題なし			
特記事項									

④児童生徒実態把握票(感覚機能)

観察項目等								特記事項	個別指導計画作成のための所見 (指導の手がかり・配慮事項)
視覚	視力	全く見えない	明暗が分かる	目の前の指の数がわかる				近くのものならどうにかわかる	
	目の使い方Ⅰ	物をほとんど見ようとしない	物を手にとって見ようとする	ゆっくり動く物をどうにか追視できる				ゆっくり動く物を追視できる	
	目の使い方Ⅱ	色(赤黄青)の区別ができない	色の区別ができる	形(○△□)の区別ができない				形の区別ができる	
	視野	周囲は見えないが中心部分だけが見える	周囲は見えるが中心部だけが見えない						
	光覚	暗いところでは見えにくくなる	明るいところで見えにくくなる						
聴覚	聴力レベル	100dB以上	80dB以上	70~80dB	50~70dB	40~50dB	30~40dB		
	聞こえの状態	・補聴器で話を聞き取ることは難しい ・かなり大きな音をどうにか感じることができているが、ほとんどの音に対して、反応が少ない	・耳もとで大きな声で言えば何とか聞き取れる ・比較的近いところの大きな音や太鼓の低い音がやっと聞こえる	・耳もとで話せば何とか聞こえる ・大きな声で話せば聞こえる	・1mぐらい離れた所から大きな声で聞き取れない ・大勢での話し合いが難しい	・1対1の会話では困らない ・話し相手の顔が見えないとよく聞き取れない ・会議でときどき聞き取りにくい	・小さな話し声やささやき声を聞き間違えたり、聞き取りにくい ・普通の会話にあまり不自由しない		
その他									
特記事項									

⑤児童・生徒実態把握表(教科学習)

観察項目等		1	2	3	4	5	特記事項	個別指導計画作成のための所見 (指導のための手がかり・配慮事項)
国語	読み	ひらがなで書かれた語句を読むことができる	カタカナや簡単な漢字を読むことができる	簡単な文を読むことができる	やさしい読み物や詩などを読むことができる	新聞や雑誌などを、見たり、読んだりすることができる		
	書き	自分の名前をひらがなで書くことができる	簡単な語句や短い文をひらがなで書くことができる	自分の名前など、身近なことを漢字で書くことができる	手紙のような簡単な文章を書くことができる	見聞きしたこと、経験したことを、順序だてて書くことができる		
	話す	経験や見聞きしたことについての質問に対して答えることができる	経験や見聞きしたことを簡単な言葉で話すことができる	経験や見聞きしたことのあらましを話すことができる	事柄の順序をたどって、経験したことを話すことができる	経験したことに自分の感想を加えて話すことができる		
	国語に関するその他の特記事項							
算数	計算	簡単な加法や減法の意味が分かり、初歩的な計算ができる	加法・減法の計算ができる	簡単な乗法、除法の意味が分かり、初歩的な計算ができる	加法、減法、乗法、除法の計算ができる	数式を活用し、生活の中で必要な計算ができる		
	時刻・暦	時計で大体の時間がわかる 1週間がわかる	時計を読むことができる 暦を読むことができる	時刻を読んだり、簡単な時間の計算ができる	生活の中で、時計や暦を利用し、時間や日数の計算ができる	時計や暦を使って予定をたてるなど生活の中で活用できる		
	数量	大きい・小さい、長い・短い、広い・狭い、重い・軽いなどが分かる	身近にあるものを使って、長さ、重さ、容積を比べられる	長さ、重さ、容積を表す単位が分かる	単位の関係が分かり、生活の中で利用できる	生活の中で、表示されている単位に適切に対応できる		
算数に関するその他の特記事項								
その他の教科	その他の教科に関する特記事項							